

入社式

2022年度 新しい仲間のご紹介です



結い だより

第65号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-206-7385
FAX 086-206-2801
発行責任者
前田 勝子

暖かな春の陽ざしが嬉しい
季節になりました。

4月1日(金)、新利用者入社式
がありました。

高橋統括管理責任者から挨拶が
あり辞令の受け渡しが行われまし
た。

高等部での職場体験として、わか
わく!の皆さんと一緒に過ごす経
験をされてきたKさん。

いつからKさんは私たちと一緒に
働くことになりましたか?」
早く一緒に仕事したいです!」
と、この日をずっと待ちわびていた
先輩利用者さんたち。



みんなと一緒に進めることの大切
さを感じる事ができた素晴らしい
入社式となりました。

ゆっくりゆっくり進みましょ
う。時には止まってもOK!
バックしても大丈夫!

新しい仲間が加わり、みんなに
とっての新しいステージが始まりま
した。

優しく格好いいKさん、
一緒に作業をするのが楽しみ
です。

優しい人柄のKさんと一緒に
頑張りたいです。

先輩利用者から一言



ロシアのウクライナ 侵略に想う

ロシアのウクライナへの侵略からも
う2か月になろうとしている。この
間、テレビやインターネットからは
毎日目を覆い耳をふさぎたくなる
ような悲惨な現状が映し出されて
きた。テレビの中の街では、道を歩い
ていただけの老人が射殺され病院が
破壊され妊婦や子供までが、ウク
ライナ」という国に住んでいる、とい
う理由だけで殺されている。今、こ
の時にも爆弾が落とされあるいは銃
で撃たれるかもしれない恐怖に押し
つぶされそうな日々を送っている。
しかし、その現状を見ている私たち
は、安全安心な日本でいつもと変わ
らない生活を送っている。本当に流
れてきているこの映像は事実なのだ
ろうか、映画やドラマの虚像の世界
なのではないだろうか。本当に同じ
時間を共有しているのだろうか。
いや悲惨な現実を見たく無いので、
私がそう思っている
だけなのだろう。

このウクライナへのロシアの侵略が
海の向こうの国のことで私たちに関
係がない、と言い切れるのだろうか。
日本は、1996年まで優生保護法
という法律が存在し、障害のある人
を「不良な子孫」と規定し、本人
には内緒で「強制不妊手術」を実行
してきた。「不良な子孫」という概念
には「国にとって」という言葉が隠れ
ている。国はつい先日、対岸の国がミ
サイルを打ってくるかもしれないか
らと避難訓練を再開する、という
発表があった。



日本障害者協会代表でもあり、わ
たしたち作業所が加盟するきょう
されん」の理事である藤井克徳さん
は、ウクライナの障害者への思いを詩
にされた。詩のタイトルは「連帯と
祈り」ウクライナの障害のある同
胞(はらからへ)「戦争は、障害者を
邪魔ものにする」とはじまり、大量の
障害者を作り出す最大の悪、それ
が戦争」と訴えている。確かに、毎日
ウクライナへの戦争報道は流されて
いるがそこに障害がある方々の姿は
映し出されていない。

毎日の生活を送ることさえも大変
な障害者にとって、戦争はいつも自
分たちとは全く無縁な権力を持つ
人達によってはじめられる。そして
戦争をはじめた人たちは、殺し・殺
される場所にはいない。

今ウクライナに住む障害がある
方々は、どんな思いで毎日を過
しているのだろうか。藤井克徳さんの
詩は訴えている。とにかく生き延
びてほしい」と。もう一度繰り返す
とにかく生き延びてほしい」と。

結い 高橋



平和と希望

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を
要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達のみだけでは微々たるものです。
ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますよう
よろしくお願い致します。

また、2020年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけます
ように何卒よろしくお願い申し上げます。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人：年1口 千円 団体：年1口 3千円)

ワークハウス・わくわく!

花見

楽しみにしていたお花見をコロナ感染予防のため、今年は桜をめでながら少人数で4グループに分かれて行いました。

暖かな陽春の陽ざしと青空、絶好のお花見びよりでした。

女性グループも男性グループも、美味しいお弁当におやつに飲み物と、楽しいひと時に心豊かに春を満喫してきました。



場所：中区 せせらぎ公園

女性利用者3名と職員1名で、コロナ対策に配慮しながら、楽しいお花見会でした。暖かな日差しの中のお花見は、心もお腹も幸せいっぱい。笑顔のあふれる憩いのひと時でした。



場所：中区 高島団地近くの公園

女性利用者3名と職員1名
コロナ対策も皆さんバッチリ!
美味しい食べ物に舌鼓♪ マスク会食でも女子会は楽しい空気に満ちあふれ、桜・青空・女子と笑顔。
今年はお花の下で開催できたお花見会でした。

場所：後樂園 河川敷

満開の桜は名残りに変わりつつありましたが、こちらは男性のお花見会。男性利用者4名と職員2名。食事も飲み物も笑顔が物語る楽しい様子。食後には日向ぼっこならぬ心地よいお昼寝としゃれこむ人、マイカメラで春をきりとる名人、男性会も盛り上がっていました。



場所：桃太郎公園 (高島地区)

穏やかな春の日、男性利用者2名と職員1名で近くの桃太郎公園でお花見会を楽しみました。

お弁当におやつに飲み物もさることながら、楽しい趣味話に花が咲きました。持参の一眼レフのマイカメラで木漏れ日の中、心を込めて本格的な撮影です。



少人数でも楽しいひと時、明日からの作業もますます頑張れます。

喜楽

花見

コロナ禍の中、例年のお花見の開催も危ぶまれていましたが、今年は少人数で衛生管理を行いながらの開催としました。

喜楽では3月28日(月)に女性2名+スタッフ1名の3名で、3月30日(水)に男性3名+スタッフ2名の5名で喜楽近くの公園にお花見弁当を持ち行きました。

ちょうど岡山の開花予測が3月27日ということもあって、もうすぐ満開というところで、きれいな桜を見ることができました。

日ごろいそがしく働いており、ゆつくりと会話する機会も少ない中、さくらの下でお花



喜楽 お花見・行楽弁当

ひき続き
4月中は行楽弁当として
入社シーゾンの需要にも対応するべく販売に取り組みます。

見弁当に舌鼓を打ちながら、趣味の話などプライベートの話もできてお互いを知るとても良い機会となりました。
お花見弁当もなかなか外食できない今、久しぶりのごちそうに「おいしかった!」の聲が聴かれました。

お花見弁当の販売
取り組みました!

販売期間：3月19日～4月4日
売上合計 57食 61560円

華やかな散らし寿司と合わせて菜の花おひたしやさくら餅、季節感満載のお弁当です
大人数でのお花見はできなくなりましたが、今年は少人数で4～5人単位でのお花見用にとお求めになられるお客様もありました。

喜楽で働かれていますか?

きっかけは昨年の春、NHKでウルトラマンに出てくる怪獣を子供向けにアレンジした番組を見たことで、もとはどんな話なんだろう?と思うことでした。

ウルトラマンシリーズ

はまっています!

現在6作品目の『ウルトラマンタロウ』を視聴中です。

いろんな怪獣や防衛隊などの登場人物が出てくるのが面白い。これからはシリーズを続けて見ていきたい。(Sさん)



ウルトラマンシリーズが始まったのは1966年の『ウルトラQ』。そこから『ウルトラマン』『ウルトラセブン』と続き、今でも新作が作られる人気シリーズです。

Sさんはレンタルビデオ店を巡り歩き、

